

# 木更津市消防団だより



## 「纏」まとい

2010.2月号

### 回 覧

発行元  
木更津市消防団  
TEL 22-0119  
(消防総務課)  
2010年2月発行  
VOL.9

迅速と的確を競う！

第32回早出し放水競技大会  
優勝は1分団2部と  
2分団2部

平成21年11月8日(日)市役所西側  
駐車場にて開催されました。

消防活動上初期消火に必要な、迅速、的確、安全を重点に競い、機関技術、消防技術の向上を図ることを目的に行われました。

#### 競技の結果

##### 《ポンプ車の部》

○優 勝 1分団2部(太田・請西)

○準優勝 8分団2部(下内橋・戸国)

○3 位 4分団3部(久津間)

##### 《小型ポンプの部》

○優 勝 2分団2部(小浜)

○準優勝 4分団7部(旧高柳)

○3 位 2分団3部(畑沢)

○4 位 7分団3部(尻倉・牛袋野)

○5 位 4分団6部(西山)

○6 位 2分団5部(上烏田)

##### 優勝チーム紹介

##### 《ポンプ車の部》

1分団2部(太田・請西)

##### ●指揮者 森 猛

●1番員 岩田数也 ●2番員 池田一夫

●3番員 今城成昭 ●4番員 松井謙一

部長コメント 岡野 純一

部員一同が一丸となり優勝する事ができたことは非常に嬉しく思います。この結果を今後の消防活動に生かし、迅速な消火活動が行

えるように地域防災に貢献して行こうと思います。



##### 《小型ポンプの部》

2分団2部(小浜)

##### ●指揮者 齊藤 徹

●1番員 影山隆成 ●2番員 影山宗

●3番員 大西裕樹

部長コメント 齋藤 昌孝

小浜地区では団員数が不足するなか、一致団結して訓練に励みました。消防活動の基本である消火能力が評価され、優勝出来た事を誇りに思います。尚、訓練を通じて更なる結束力が育ち、価値の有る大会となりました。



## 分 団 紹 介

### 3分団(清川地区)

分団長 石川 和光

清川地区は、1部が旧西清川地区、2部が菅生・椿地区、3部が中尾・伊豆島地区、4部が大成・笹子地区の4個部から成り立っており、ポンプ自動車1台、小型ポンプ自動車3台の計4台で地域住民のご理解ご協力をいただき消防団活動に励んでいます。また、3部には木更津市初の女性消防団員の入団があり、これからは女性消防団員の増強により更に地域にゆきまれる消防団活動に力を注いでいきます。

### 清川地区ってどんなところ？

清川地区には、大型ショッピングモールのジャスコやアピタがあります。特にアピタ周辺のほたる野は多くの商店や病院も増えてきており新興住宅地域として活気に溢れています。また、清見台とほたる野を中心に北には小横川があり、東には館山自動車道木更津北インターと木更津ジャンクション(アクアライン連絡道と圏央道と館山道とを結ぶ)があり、西に金鈴塚古墳があります。全体的にみて山や田畑も多く、自然にも恵まれています。清川地区には小学校5校と中学校3校があり、防災ふれあいスクールや地域の方と一緒に防災訓練など緊急時の対応や啓発活動も実施

しております。これからも各部が連携し、地域住民のご理解ご協力を得て消防団活動に精を出していきたいと思えます。

#### 3分団 役員紹介

分団長 石川 和光  
副分団長 柴崎 芳貴  
副分団長 山口 秀樹  
1部部長 鳥海 幸雄  
2部部長 堀切 義基  
3部部長 太田 賢志  
4部部長 三枝 恒夫



#### 3分団地区消防団管轄地域

	管轄地域	頭数	ポンプ種別
分団	清川地区全域	3	
1部	旧西清川地区	18	ポンプ自動車
2部	菅生・椿地区	9	小型ポンプ車
3部	中尾・伊豆島地区	16	小型ポンプ車
4部	大成・笹子地区	15	小型ポンプ車

# 木更津市 消防出初式 新たな出発

1月17日(日)「消防出初式」が多数の来賓の方々に出席いただき、また、多くの一般市民の見物客のなか、市役所西側駐車場で開催されました。消防職員・消防団員、総勢722名が、各災害に対応する為に、新たな気持ちで活動を開始しました。



式典では、千葉県知事表彰等、多数の消防団員が表彰の栄を受けました。

また式典後、木更津高職組合による、江戸時代から伝統の、梯子乗り妙技や、消防団による支部大会出場チームの消防操法演技(1分団1部・5分団2部)並びに、早出し放水競技大会の優勝チーム(1分団2部・2分団2部)の演技、また、消防本部による有毒ガスの発生を想定した救出演技も披露され注目を集めていました。



消防広場では、消防車との撮影会・煙体験コーナー・お絵かきコーナー等、お子様連れの家族に大好評でした。

**倒れる 割れる 飛んでくる!**

家屋が倒壊しなくても、大地震のときには強烈な揺れに襲われます。中越地震の時には、その揺れの振幅は縦で最大1.8mにもなったそうです。梁と柱の結合部を一気に外し、古い家屋を倒壊させてしまうほどの力なので、固定されていない家具や、電化製品は一気にひっくり返り、飛んできたりします。実際、テレビが飛んでくるという

のは阪神・淡路大震災でも報告されており、いつもは安全と思っている物が、すべて凶器に変わる可能性があります。

- 震災時に、家具や家電製品等を凶器に変えない為に必要なことは、
- ① 寝室には倒れる恐れがあるものを置かない。
  - ② 倒れたり、飛んできそうなものはすべて固定する。
  - ③ 戸棚、引き出し等は、カギ、または耐震止め金具を付ける。
  - ④ 家電製品などは高さをできるだけ低く抑える。
- 以上が代表的な例です。



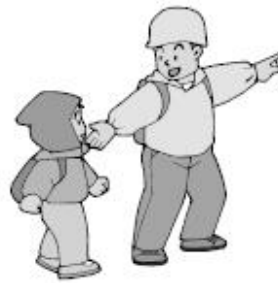
とくに気をつけておきたいのは、テレビと電子レンジです。使用するにあたり、ある程度の高さのところに置かざるを得ないので、使用中であれば、火災の原因にもなりかねないものだからです。近年、テレビの大型化が進んでおり、台座が小さくなりがちで、地震を配慮した形状とは思われないものが増えてきています。しっかりした枠のある台に据え付けて固定したり、取っ手部分や

ネジなどがあれば、ひもやワイヤーなどで固定する。また、テレビも電子レンジも、市販されている滑り止めを下に敷くのが効果的です。紹介した例の他にも色々ありますが、もう一度、身の回りの安全を確認してみてくださいいかがですか？

## 災害時に

### 慌てない方法

● どうしたら落ち着けるか？



地震は常に前触れもなしにやってきます。そのため、たいていの人が冷静さを失い、適切な行動をとれなくなりますが、地震時にどのくらい落ち着いていられるかが、身を守るキーポイント。「万一の場合の行動」を体得し、自信をつけるのが一番。

● 身の安全をどうやって確保するか？

まず第一に安全な場所に避難すること。そのためには普段からどこが安全かを考えておく必要があります。第二には身の安全をすべてに優先させること。揺れのさなかに怪我をしなれば、次に思い通りの安全策をとることができません。

## 地震防災

### 対応型訓練の実施

2月21日(日)午前9時から木更津市内4カ所で春季防災訓練を実施します。地元消防団の消防車がサイレンを鳴らしながら走行します。早朝訓練のため、地域の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、ご理解と協力をお願いいたします。

### 地域の防災リーダー

**消防団員募集!**  
災害に強いまちづくりに参加しませんか

消防団活動は、市民の手による防災活動の一つです。現在、598人の市民が消防団に所属。火災や火災予防のほか、地震・風水害などの大規模災害時にも活動に当たります。

- 入団資格 18歳以上45歳未満で市内在住の健康な人。
- 活動内容 火災・地震・津波などの災害を防ぎ、市民の生命・身体・財産を守ります。
- 身分 地方公務員(非常勤特別職) ※本職とは別に役割を持つ、地域社会への奉仕活動です。
- 処遇 公務によるけがなどは、公務災害補償制度が適用されます。

問い合わせ先

木更津市消防本部消防総務課  
☎(22)0119  
またはお近くの消防団まで